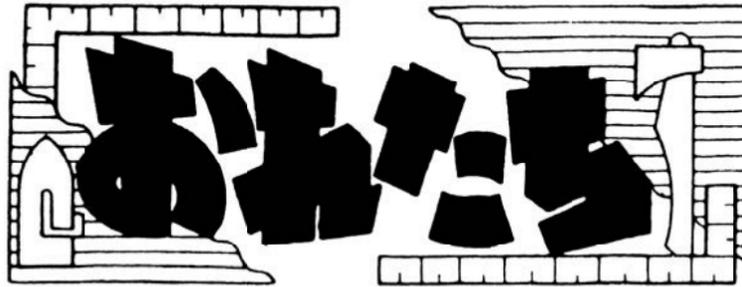


無料法律相談日の案内

5月20日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

5月当初組合員数=1884人(+1人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・津田宗久/編集長・増山國吉
http://www.doken-arakawa.org/

組織拡大・要求実現へ団結

第74回 荒川支部定期大会 開催



荒川支部は4月10日、けんせつプラザ東京で第74回定期大会を開催しました。新型コロナウイルスの3年連続で時間を短縮しての開催となりました。全体の参加者は代議員31人、来賓1人、書記局4人の39人でした。組織拡大と組織強化、後継者育成、要求実現のための運動の強化が中心議題となりました。澤元達雄通信員(町屋南分会)

中、仲間を増やす拡大運動に奮闘されたことに改めて感謝申し上げます。しかし、脱退増もあり、今年の1月の組織数は1912人、3月1日付では1892人と非常に厳しい状況になっております。また、全都会でも11万人と10万人の組織に陥ろうとしています。コロナ禍がいつ収束するか不透明の中、引き続き拡大運動に邁進していきましよう。組織の拡大こそ、私たちの要求実現の近道です。今大会は時間短縮での開催になりましたが、活発なご意見をお願いいたします」と挨拶しました。

続いて、姫路直樹書記長から基調報告があり、2021年度の運動の総括、情勢、22年度の運動方針が提案されました。基調報告に対する質疑応答では、3人の代議員から後継者を育てることに関して分会任せにしないでほしい等の要望や質問がありました。22年度新役員選出が行われ、永年表彰では町屋南分会の井澤力さんが表彰されました。最後に、五箇谷日出雄副執行委員長による「閉会のあいさつ、団結がんばろう」で閉会しました。新四役は、執行委員長

が津田宗久(東尾久1分会)、副執行委員長が増山國吉(西尾久分会)、五箇谷日出雄(荒川分会)、澤元達雄(町屋南分会)です(敬称略)。

若年層の拡大、後継者育成などが論議に

代議員31人が参加

大会初参加

町屋北分会

相楽 健太さん

2021年はコロナが猛威を振るう中、実践出来た活動を知る事が出来

ました。一方で出来ない事も多く、課題が残ったため、22年もコロナの状況を見ながら取り組んでいくと同時にロシアやウクライナの状況も把握しながら出来る事を考え一致団結して取り組んでいく事が大事だと感じました。



津田委員長(上)と全体的様子(けんせつプラザ)



春の拡大に向け陣中見舞金を受け取る分会代表

2022年度・支部四役・常任執行委員

- 第74回支部定期大会で新たに選出された支部四役・常任執行委員(待遇含む)です。※敬称略
- 書記次長 姫路 直樹(書記局)
 - 書記次長 吉田 和馬(書記局)
 - 常任執行委員 藤川 直樹(東尾久1)
 - 五十嵐 信雄(荒川)
 - 八木 博行(南千住)
 - 大橋 正博(事業所)
 - 常任執行委員待遇 浅野 由樹(青年部)
 - 相楽 由美子(ザ・レディース荒川)
- 執行委員長・中央執行委員 津田 宗久(東尾久1)
- 副執行委員長 増山 國吉(西尾久)
- 五箇谷 日出雄(荒川)
- 澤元 達雄(町屋南)
- 書記長

春の拡大目標達成と2000人支部回復を

春の拡大期間が3月後半から始まりました。5月の支部組織数は1884人、2千人を大きく下まわっています。支部目標67人に対して27人を拡大しています(4月28日現在)。これも仲間の皆さまのご協力のおかげです。厳しい情勢だからこそ、仲間を寄り添い、未組織の建設従事者を組合に迎え入れ、組織増勢を勝ち取っていきましょう。支部役員も2千人支部回復に向けて最後まで奮闘していきます。

組織部長 増山國吉

息子にも登録を勧めたい

吉岡靖尚さん・荒川分会

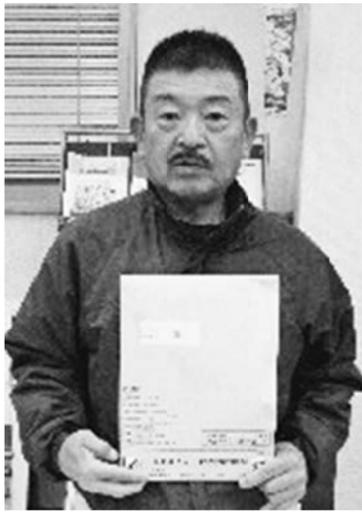
【船橋賢一書記局】荒川分会のとび職、吉岡靖尚さん(54歳・写真)は、事業者登録をしました。吉岡さんは経験36年の大ベテランです。

「4月14日に支部で登録申請をしました。現場

は松井建設や高松建設で、3〜4年前から取得を言われていました。でも、高松の現場では作業員が50〜60人いる中、まだ2人しか登録していません」。

吉岡さんは、「職人の待遇が良くなるなら息子にも勧めたい」と話しました。

CCUS登録者に聞く



【増山國吉記者】西尾久分會 4月16日、コロナ禍のなか「さようなら原発首

子どもの甲状腺ガン 福島で293人に 原発も戦争もなくすまで運動を 4.16さようなら原発首都圏集会

都圏集会」が亀戸中央公園で開催されました。参加者は2300人、支部から3人でした。「さようなら原発」一千万署名市民の会が主催しました。



主催者挨拶をする作家でルポライターの鎌田慧さん＝亀戸中央公園、4月16日

ルポライターの鎌田慧さんは、「ロシアのウクライナ侵略で、自民党は水を得た魚のような、核の保有、敵基地攻撃を口にする。ロシア軍はチェルノブイリ原発制圧を狙い、塹壕を掘って大量に被曝している。原発

が核爆弾と同じ役割を果たしている。1日も早く、停戦と戦争をやめさせる。平和運動を広める久々の集会です。原発がなくなるまで、戦争がなくなるまで頑張りましょう」と挨拶しました。

仲間の横顔



【大橋正博 通信員】事業所分會勤務している会社は今年で設立16年となる「株式会社ケースモビリティ」(荒川区東日暮里)です。社長と社員2

65
人の小さな会社です。勤続13年、一応部長です。主な業務内容は空調サービスです。業務用エアコンのメンテナンスから修理・薬品洗浄・新規設置・更新などを行っています。送風機、ポンプ、冷却塔、業務用加湿器も取り扱っています。



空調サービスの仕事をする大橋さん

最近ではコロナ禍の影響で湿度が注目されている関係から、業務用加湿器の仕事が大変増えています。

支部では後継者対策部長ですが、活動はコロナ禍の影響でほとんど出来

大橋 正博さん(事業所分會)

動しています。

わが家のペット vol.1

【増山國吉記者】西尾久分會の稲富清治さん(72歳・内装、写真)は犬を飼っています。



犬種はジャックラッセルテリア、8歳の雌です。

「毎日2回の散歩が大好きです。散歩の途中、投げたボールを取って来るのが好きで、何回やっても飽きません。投げて貰うまでいつまでも吠えて催促してきます」



愛犬の名前はシズクちゃん。

今月の

1枚

いろは親水公園

志木市 桜の名所 160本がとても綺麗に



で、志木市役所前に下車して行きました。

柳瀬川と新河岸川に挟まれたエリアが公園になっています。



桜の名所として有名で、約160本の桜の木が植えられていて、見頃でもとても綺麗でした。大勢の市民の方がお花見に訪れていました。

連帯の挨拶に立った福島原発刑事告訴裁判を闘う宇野朗子さんは、「原発事故で立ち退き、避難した人は全てを置いてきた。今も6

万人以上がいる。子どもの甲状腺がんが福島だけでも293人。1万人に1人以上です。私たちは汚染水の海上放出をやめさせます。

原発事故から何を学ぶのか政府は放棄しています。公正な裁判を求め最後まで頑張ります」と訴えました。

第93回メーデー

大企業は内部留保を 国民に還元せよ

【佐藤一博記者】東京2分 尾久2分



公園で第93回メーデーが開催されました。3年ぶりの屋外開催となりました。主催者を代表して全労連の小畑雅子議長が挨拶に立ち、ロシアのウクライナ侵略に抗議し、即時撤退を求めました。また、ウクライナ侵略を口実とした、憲法改悪と核共有の動きを絶対に阻止しなければならぬと訴

えました。続いて、来賓の日本被団協からロシアの核兵器使用を許してはならないとの発言があり、政党からの連帯の挨拶では、日本共産党の志位和夫委員長が、ロシアのウクライナ侵略は国際法違反であり、即時撤退を求めました。また、大企業の内部留保を中小企業や国民生活に還元するよう訴えました。閉会后、参加者は青山コースをパレード。全体の参加者は2900人、支部から18人が参加しました。